

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 ウェルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・ 事業所 の特徴	「あるがままに 楽しく ゆったりと」の家訓のもと、16年目を迎える。併設のグループホームと共に利用者さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、本人や家族の思いに寄りそったケアに努めている。
事業所名	さわやか憩いの家春日	管理者	光武 祐一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	7人	人	人	3人	人	人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
1. 事業所自己評価の確認	・総括表の改善計画と自己評価9項目の改善計画に一年間取り組めるように「目標の見える化」を行う。	・年度初めにスタッフルームに貼り出しを行った。出勤時は必ず目に入る場所で、目標に取り組みやすかった。	自己評価や事業所評価の中で「出来ていない」と書かれているものが幾つかありました。何故出来ていないかミーティングの中で話し合い、どの様に改善するか記載があれば評価がしやすいと思いました。	・「見える化」の追加を行う。 利用者のケアプランの一覧表を作って貼りだし、実行に努める。
2. 事業所のしつらえ・環境	・「外部評価・地域関わりシート」をご家族へも配り、思いを汲み取る機会にする。	コロナクラスター感染があり、ミーティングやまとめが大幅に遅れ、ご家族へは配れていない。	コロナ禍において、地域の方との繋がりが困難な中で色々工夫されていたと思います。	・R3年度の総括表と自己評価のまとめを本人と家族へ配布し、アンケートを実施しR4年度へ活かしていく。
3. 事業所と地域のかかわり	・掲示板を作り、行事のお知らせや事業所の現在の様子を伝えていく。(感染対策や地域交流室の再開)	・安全性を考え掲示板の設置は見送った。代わりに、自動販売機～道路の美化、清掃に努めた。	掲示板を作る代わりに清掃に努めたことの方が繋がっているのが分かりにくかった。 →清掃と花を増やすことで、隣近所との交流や通行人との会話がコロナ禍でも増えたことが、地域とのかかわりとして行えました。その中から利用者さんの様子を聞かれることもあり少ないながらも関わりを保っていたと思います。	・クリーン作戦や防犯パトロールなど感染予防しながら参加出来る地域行事に参加していく。

春日市健康推進部
高齢課
-4. 3. 30
第 号

<p>4. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・事故やヒヤリハットの防止に繋げるために、一年間の集計とミーティングを行う。地域運営推進会議でも公表し、皆さんの意見を取り入れていく。</p>	<p>・集計と公表は行った。集計自体にご意見は無かったが、年間通してのアンケートには事故報告の改善についての記載があっていたので対応している。 例：薬箱の変更（蓋つき透明）</p>	<p>特に無し</p>	<p>・地域と事業所を繋ぐために、まずは会議の参加者の皆さんのお顔と名前を一覧にする。 ・ヒヤリハットの集計と報告は継続し、ご意見を活かして再発防止に努める</p>
<p>5. 事業所の防災 ・災害対策</p>	<p>・通常の防災訓練（火・風水・地震）に加えて、感染症対策の訓練を実施する。 ・BCP計画の作成。</p>	<p>・夏にクラスターが起きた施設から講義を受け感染予防に努めていた。訓練も行っていたが、実際に事業所で感染が起き現場が一番の学びだった。</p>	<p>この大きな課題は日常的に自治体と地域に事業所側が訴えていくものだと思います。1事業所で立案できるものではなく、事業所が自治体にどの様に対応・計画したら良いか一つ一つ課題を訴えることが必要と思われます。</p>	<p>・R4年度のBCP計画の完成 ・災害や感染症の訓練と予防は行いながら、緊急時に必要な物品を揃えていく。</p>